

2025年1月10日

各位

会社名 株式会社ジーフット

代表者 代表取締役兼社長執行役員 木下 尚久

コード番号:2686

東証スタンダード市場・名証プレミアム市場

問合わせ先 経営企画・財務経理本部長 中村 好昭

電話番号 03-5566-8215

当社の親会社 イオン株式会社

代表者名 取締役兼代表執行役社長 吉田 昭夫

コード番号:8267 東証プライム市場

## 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年1月10日開催の取締役会において、2024年4月10日に公表した2025年2月期通期連結業績予想数値について修正することを決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正について

2025年2月期通期連結業績予想数値(2024年3月1日~2025年2月28日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	64,000	500	200	10	0円23銭
今回発表予想(B)	59,600	△640	△1,140	△1,400	△32円89銭
増減額(B-A)	△4,400	△1,140	△1,340	△1,410	
増減率	△6.9%	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (2024年2月期)	64,601	△1,081	△1,363	△1,768	△41円55銭

#### 2. 修正の理由

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響により毀損した自己資本の増強と安定した財務基盤による経営基盤の再構築を実現させるべく、4カ年(2023年2月期~2026年2月期)の事業再生に取り組んでおります。前連結会計年度では「成長戦略に向けた基礎固め」を経営方針に、不採算店舗整理が完了し、アスビーブランド統一(利益店舗へ経営資源を集中し、事業効率・販売効率の最大化を図る)は対象とする店舗のうち半数まで改装が進んだことから店舗収支基盤の基礎固めを進めることが出来ました。

当連結会計年度からは「成長戦略へ舵」を経営方針に据え、2025年2月期重点取り組み(事業構造改革、MD構造改革、組織・コスト構造改革、EC事業の成長と拡大)を軸にした成長軌道

回帰への取り組みを進めております。

そのような状況の下、当第3四半期連結累計期間につきましては、事業構造改革でお客様のストアロイヤリティ（信頼度、愛顧度）向上を目的に、地域のお客様情報や店舗特性に基づいた品揃え・販売サービス改革に取り組んできたアスビーブランド統一で客数の回復と、売上拡大を計画いたしました。

しかしながら、9月は厳しい残暑、10月は全国的に気温が高い日が多く、ブーツを始めとした秋冬商品（以下、シーズン商品）の販売が振るわず、9～10月度2カ月間の既存店売上高前年同期比は93.5%の実績となりました。売上高回復とシーズン商品の在庫消化を進めるべく11月度から販促施策を強化したことにより、11月度既存店売上高前年同期比は104.3%まで回復いたしましたが、当第3四半期連結会計期間（9～11月度）では97.5%となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間（9～11月度）の売上総利益高が前年同期実績から6億37百万円減少、販売費及び一般管理費を前年同期実績から4億17百万円削減させたものの、売上総利益高の減少を補うまでには至りませんでした。また、12月度は売上総利益率が前年同月実績から改善したものの、これまでの売上トレンドから脱却出来ず12月度既存店売上高前年同期比93.2%で進捗したことを受け、当第3四半期連結会計期間（9～11月度）に傷んだ利益を残り期間で持ち上げる事が難しいと判断いたしました。

以上のことから当第3四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は前年同期から14億94百万円削減させたものの、売上高減少による売上総利益高の減少を補うまでには至らず、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を下回る見通しとなりました。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上